

# 専念寺通信

9月号 (NO. 157) <http://sennenji.s296.xrea.com/>

ひときわ暑かった夏が終わり、ゆうべには虫の音が聞こえるようになりました。皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。

## ☆お彼岸

9月20日から26日までが秋のお彼岸です。彼岸のお中日は秋分の日、昼の長さや夜の長さが同じになる日です。この日をさかいに、少しずつ夜の時間がふえて行きます。夜の7時まで外が明るかった季節は終わり、日没はだんだん早くなり、季節は次第に冬に近づいていきます。お中日に、太陽は真西に沈みます。西方にある極楽浄土に思いを馳せ、心静かにこの彼岸の1週間を過ごしたいものです。

## ☆六波羅蜜

**布施** (ふせ) 与えること。

**持戒** (じかい) 戒律を守ること。

**忍辱** (にんにく) 苦難に堪えること。

**精進** (しょうじん) 真実の道をたゆまず実践すること。

**禅定** (ぜんじょう) 精神を統一し安定させること。

**智慧** (ちえ) 真実の智慧を得ること。

この六つの徳目を、お彼岸をきっかけに試してみてはいかがでしょうか。**布施**。与えるのは金銭とは限りません。笑顔、ちょっとした言葉、自分の持っている知識、生きるために役立つ手立て、なんでも良いのです。見返りを求めずに



与えること、それが重要です。そして**智慧**。今の私たちの国はさまざまな「情報」があふれています。そのどれが真実なのかを見定めるのは難しいことです。専門知識を持っている人はそれを駆使して、できる限り人に知らせる、また逆に、自分の苦手な分野について詳しい人がいたら耳を傾けるなど、互いに交流して、大きなメディア頼りにならないようにしましょう。長年の経験と勘で、なんとなく分かるのだ、というのもおおいに役立ちます。経験の浅い人に教えてあげましょう。

**禅定**。心を落ちつけること、臍の下に精神をすんと落として心を鎮めるのは私たち日本人の得意技です。心を安定させ、本当のことは何なのかを考えましょう。**精進**と**忍辱**。あきらめないことが大切です。大きな声の人に振り回されないこと。大きな文字で書かれた新聞記事が私たちにとって本当に重要

かどうか分かりません。真実を語る人はたいてい、静かに言葉を選んで丁寧に話します。同様に、真実はたとえば新聞では小さな記事になっていたりします。経験と勘と根気が大事です。若い人には読書をお勧めします。50年、70年前に書かれた書籍から驚くような「新しい」ことが発見できます。真実を探し続ける若者と経験を積んだ年配の人間が力を合わせれば、私たちは大きな失敗を選ぶことなく、穏やかな生活を作り出すことができるでしょう。彼岸をきっかけに「与える」を実施しませんか。平成25年9月1日 大黒

